

Every August. For 30,000 people. Worlds meet in Japan.

元町公園で、「世界」に出会う

006

World  
Music and  
Dance Festival

元町公園Sai



2013

8/4 · 5 · 6 · 7 · 8 · 9 · 10 · 11

SUN 日

MON 月

TUE 火

WED 水

THU 木

FRI 金

SAT 土

SUN 日

〈第006回〉はこだて国際民俗芸術祭・記念ガイドブック W MDF 006 Souvenir Guide  

## 主催者から皆様へ

### Ten Years of "Long Now" and "Big Here" Lessons

第006回芸術祭へようこそ。世界の食と雑貨が集まる元町公園同時開催「もぐもぐフェスティバル」をはじめ、強化されたビジュアル・アート、そして多様かつ興奮のラインナップで皆様をお迎えできることをうれしく思います。しかも、今回は6回目にして、元町公園会場が6日間に延長です！

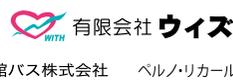
芸術祭としては6回目ですが、実は芸術祭に関わる多くの人たちにとって、ともに野外イベントを運営して10回目となる記念すべき年であります。2003年に開催したコンサートは、函館の音楽グループ「ひのき屋」の5周年を記念して、約3,000人の観客を前に、地元のアーティストが集まって行われた1日だけのものでした。地元から国内、そして海外のアーティストへとその規模は徐々に拡大し、日帰りでも楽しむものから、今日では多くの人びとが集まる国際的なイベントへと成長しました。

ところで、私たちが偶然気づいたこととして、日本国内のイベントをとりまく環境にはちょっとしたギャップがあります。いいかえれば、多くのフェスティバルがあるにもかかわらず、海外の民俗芸能団体を招待することに重きをおいたものはそう多くなかったということです。実際、主催者としても、当初はこんなに事がうまく運ぶとは思っていませんでした。あまり深く考えずに「はこだて国際民俗芸術祭」という長くてかつ覚えにくい名前をつけてしまいました。その後、芸術祭のテーマの一部である「ビッグヒア」によって強く学んだことは、「はじめはとにかく大きく大きく考える」ということです。2年前、ワールドフードコートと呼ばれていたブースが「もぐもぐフェスティバル」という名前生まれ変わりました。これはネーミングとして、だいぶうまくいったのではと思っています。

前述した2003年の「はこだて新発見野外ライブ」は、特にインターネットでは、今やほとんどその記録を見ることができません。芸術祭になってからは、テーマ「ロングナウ」の教えとして、記録の重要性を意識しています。例えば、このガイドブックやウェブサイトでは、芸術祭の歴史をかいま見ることができます。さらに、芸術祭の発展に尽くしてこられた人たちについても記録に残したいと考えています。例えば、今回の巻頭特集でインタビューした井守さんもそのうちの1人です（ちなみに彼もまた、2003年のイベントでドリンクを売っていました）。

このガイドブックをお読みの皆さんが、このように、芸術祭の歴史の1ページに参加して下さることを心より歓迎いたします。出演アーティストについても、スタッフについても、スポンサーについても、すべて日本語と英語、2か国語のウェブサイトで紹介しています。私たちにとってこんな日が来ようとは、とても信じがたいことです…。それでもまだ、これからともに学ぶべきことが山のように待ち構えています。

協賛：有限会社ウッド工房、学校法人函館大谷学園、有限会社ウイズ、社会福祉法人函館共愛会共愛会病院、五稜郭タワー株式会社、有限会社サインプランニングシステム、福祉社 四丁目の夕日、ほか / 協力：有限会社グレートーン、函館バス株式会社、ベルノ・リカール・ジャパン株式会社、八百ねっと、ほか



「芸術祭」と「もぐもぐフェス」は、一般社団法人ワールズ・ミート・ジャパンの主催で開催される非営利事業であり、文化振興などの公益を目的に行われています。これらのフェスティバルは、市民有志のスタッフにより運営されています。WMDF and MoguFes are brought to you by "Worlds Meet Japan". We are non-profit, and run by volunteers. Any proceeds of our event go to our work on transformational social and educational projects locally and internationally.



**Ian Frank**  
Co-President  
WMDF Festival  
Director



**Naoto Soga**  
Co-President  
WMDF Artist  
Director



**Takuma Fukuda**  
Secretariat



**Motoaki Kitamura**  
Inspector

A very warm welcome to WMDF 006. We are pleased to bring you yet another diverse and exciting line up, more visual arts, and a continued co-location with the Mogu Mogu Festival offering yet "More Goods and More Gourmet" from around the world. Plus, we mark our sixth year by expanding to run for six days in Motomachi Park instead of five!

Although this is the sixth year for WMDF itself, for many WMDF-ers it is our tenth anniversary of organising outdoor events together. We started in 2003, with a one-day concert of local artists for 3,000 audience to celebrate the fifth anniversary of the Hakodate group "Hinoki-ya". By gradually expanding from local to national to overseas groups, what started as an enjoyable day out for us and some friends has turned into the genuinely international event you see today.

We benefited from stumbling onto a gap in Japan's events ecology: although the country is brimming with festivals, there were no others with a primary focus on inviting groups from overseas. Because we weren't really expecting this success, we have the not-so imaginative name of "World Music and Dance Festival", with its abbreviation WMDF. "Think big big at the beginning" is just one of the "Big Here" lessons that we learned the hard way. We did better when naming the Mogu Mogu festival that fills Motomachi Park with booths ("mogu mogu" is a Japanese onomatopoeia for the sound of eating).

There is almost no trace of our 2003 "Shin Hakken Yagai Live" event online. So for WMDF, we observe the "Long Now" lesson on keeping archives: you will find the WMDF history in this pamphlet and online. Also, we are recording the thoughts of people involved in WMDF, for instance our chief bartender Imori-san, whose interview leads this year's Souvenir Guide (he was selling drinks at our event in 2003, too).

We invite you to become involved in WMDF's story. Information for artists, staff and sponsors is all online in Japanese and English. Hard to believe that we have been doing this for so long... And that there are still so many big lessons to learn.



## 【巻頭特集】WMDF People: An Interview 対談×芸術祭の人びと

いもりまさと  
井守慎人さん — 聞き手：イアン・フランク  
with Masato Imori (Master of Cocktail bar Concord 21)

本町にある「カクテルバー・コンコルド21」のマスター、井守慎人さん。彼は芸術祭が誕生した時から今日まで、元町公園のWMDF BAR（ドリンクブース）や大門グリーンベルトの前夜祭、そして「ありがとうパーティー」でその腕をふるってきました。「ザ・グレンリベットブランド・アンバサダー」の称号をもち、数々の賞を受賞してきた井守さんに、芸術祭とそこに参加する魅力についてイアン・フランクが聞きました。

Imori-san is a past winner of the All Japan Cocktail Bartender's Association bartender prize. He has run booths at WMDF and helped us with artist parties since the start. He is the master of Concord 21 in Honcho. Interview by Ian Frank.

店内風景。年数を重ねるごとに、芸術祭のパスが増えていく。Pictures show Imori-san's bar, with his collection of WMDF passes on display.



**イアン (以下太字): 芸術祭のどんなところが、面白いですか?**

いろんな国の人たちに会って、いままで知らなかったような文化に直接触れ合えるところでしょうかね。聞いたことのない名前のカクテルを頼まれたり、国によって好みの飲み物の傾向が違ったりします。いろいろと勉強になりますよ。

**ドリンクブースは元町公園のブンダエリアにあります、ブンダはどんなところですか?**

ステージと観客の一体感があります。そこがブンダエリアらしいですね。

**準備にあたっての裏話があれば聞かせてもらえますか?**

いつも芸術祭の期間中は、本当にキツイですね。もちろん、前夜祭が始まる8月4日の前から準備を始めるわけですが、そこから最後のありがとうパーティーまで毎日毎日、続きますからね。もちろん期間中も自分の店は開けますから、芸術祭の期間中は1日だいたい3時間くらい眠ればいい方です。芸術祭のテーマは「ロングナウ」ですけど、年を追うごとに大変ななっています。自分も1歳ずつ年をとっていきまっすし、1年ごとに芸術祭は大きくなっていくし、これはもうダブルパンチですね(笑)。

**パーティーの準備は、どのような感じですか?**

これまで手伝ってきた芸術祭のパーティーは、ほとんど毎回別の会場でやってきました。前回の反省がほとんど生かせないので、これが一番大変なことでした。今年の大門グリーンベルトで行われる前夜祭は、ようやく去年と同じ会場になりますので、ブースの場所とかやり方とか工夫して、少しでも楽しいパーティーにしたいと思っています。8月11日のありがとうパーティーは、初めて函館市青年センターを使わせてもらいます。より多くの方々に楽しんでいただくという意味ではいいことだと思いますが、とにかく会場が広いので、いまから入念に準備したいと思っています。

**これまで芸術祭に参加してこられて、ご自身やお店が変わったことなどありますか?**

もちろん変わったことというか、バーテンダーとして勉強になることは多いです。皆さん、それぞれ自分の国のレシピでカクテルを注文してきますからね。比較的、飲み方やアルコールの楽しみ方をわかっている人が多いですよ。例えば、3回目の芸術祭に来たバスクなんかは、「カリモチョ」なんていうカクテルを注文して来ましたよ。それって何だかわかります? 赤ワインのコーラ割り。普通あまりやらないでしょ? あとで調べたらちゃんあるんですけど(笑)。バスクはカリモチョばかり頼んでくるから、コーラの在庫がなくなっちゃって、ついに自販機にまで走ったことがあります。これはもう忘れませぬね。

**芸術祭に来られるお客様もここ数年で変化があると思いますが、井守さんはどのように感じていますか?**

人がたくさん増えて、年齢層なんかも変わってきてる感じがしますね。でも、私自身いろいろなイベントをお手伝いしていますが、元町公園に来られる方は、皆さんマナーがいいと思います。日本語で「品がよい」なんていったりしますけど…。やってて楽しいです。

**最後に、芸術祭に来てほしい国があればぜひ。**

スコットランド! バグパイプ! これはぜひ来てほしいですね。

**ありがとうございました。これからも、スコットランドのバグパイプが来るまで? 芸術祭をよろしくお願ひいたします。**



第003回のウェルカムパーティーはカフェ・ペルラで行われました。WMDF 003 Welcome Party at cafe de perla.



ありがとうパーティーは国際ホテルで。当時は関係者のみ参加。WMDF 003 Arigato Party at Kokusai Hotel.



大門で行われる前夜祭は、アーティストと交流する貴重な機会に。WMDF 005 Opening Party in the Daimon Green Belt Area.



元町公園会場のドリンクブース。売上は芸術祭の運営に使われます。WMDF drink booth in Motomachi Park, run by our volunteer staff.

**What do you enjoy about WMDF ?**

I like being able to directly meet and interact with people from many different cultures, especially at the parties. I have been able to learn about the different drinking trends of people from different countries, and how to interact when there is no common language.

**Your booth is in the Bunda area. What is good about being there?**

I think the Bunda area has a unified feeling between the stage and the audience.

**Can you give us some background on the logistics of running your booth?**

During the WMDF period it is more than hard! We start preparation from before the party on Aug 4, and continue until the end of the party on Aug 11. Since I work in my own bar after being at WMDF, I sleep only three hours a day during the festival! The theme of WMDF may be “Long Now”, but it is getting harder each year... There is a “double punch”: each year the event gets bigger, and each year I get one year older!

**How about the logistics of running the parties?**

So far, almost every party has been in a different venue! This can make the logistics hard. This year, having the Welcome Party in Daimon for the second year running will make it easier to learn from our mistakes. For the Arigato Party on Aug 11, we are admitting the public and also using the very large Seinen Center for the first time, so there is more to plan.

**In what ways has WMDF changed you, or Concord 21?**

As a bartender, I learned a lot. Artists come to the bar with recipes from their own countries. For instance, the Basque group ordered lots of “Kalimotxo”. It is red wine mixed with cola! They drank so much Kalimotxo that our supply of cola ran out...

**In what ways do you think WMDF customers changed over the years?**

There are lots MORE! Compared with other events, I think people who come to Motomachi Park have good manners. We say in Japanese “hin no ii”.

**From what countries would you like to see WMDF groups?**

Scotland! Bagpipes!

**Thank you Imori-san. WMDF will try to attract many more groups, including from Scotland!**



**Cocktail Bar Concord 21**

1-42 Shinon-kan Bld. 1F  
Hon-cho Hakodate-shi.  
Phone: 0138-56-5331

聞き手: イアン・フランク / 一般社団法人ワールドズ・ミート・ジャパン代表理事。13歳の時に初来日。公立はこだて未来大学教授。芸術祭の「ボス」。

Interviewer: Ian Frank  
(Worlds Meet Japan Co-President, WMDF Festival Director)